

志政会 令和6年度 施政方針について



永富 靖 議員
YASUSHI NAGATOMI



「龍野IC周辺まちづくり区画整理事業」に伴う、周辺道路の渋滞緩和策について

問 道路や信号機の新設は兵庫県または国との協議が必要になると思うが、今後のスケジュールは決まっているのか。

答 令和6年度に実施する測量、設計作業と並行して、兵庫県及び公安委員会と協議を進めていきたいと考えている。現時点で協議の期間を示すことはできないが、区画整理事業との調整を図りながら、周辺道路の渋滞緩和に取り組んでいく。

「健全で効率的な自治体運営を推進する」より

問 公共建築物再編実施計画において龍野・損保川・御津図書館について機能集約を検討があるが、令和6年度に市の方針は示されるのか。

答 機能集約の方法として、既存の施設を活用する方策や、新しい図書館を建設する方策、また電子図書館、移動図書館などの図書館機能の活用など、様々な観点から検討を進めているところであり、令和6年度中に方針を示すことは困難である。

問 令和6年度当初予算において一般会計が過去最高額となっている。経常収支比率が高くなっているが、財政状況はどうなのか。また、令和7年度以降の見通しはどうか。

答 経常収支比率は令和3年度、4年度決算の状況で全国平均及び県平均を下回っており、更に財政の健全化を判断する指標の一つである、将来負担比率についても適正値の範囲内であることから、健全な財政状況であると認識している。

今後の行財政運営において、厳しい財政状況が予測されるが、中・長期的な見通しを持った計画に基づき、不断の行財政改革に努め、持続可能な形で行政サービスの提供ができるよう、取り組んでいく。

Q&A 子宮頸がんの撲滅と「食品ロス」対策で温室効果ガスの削減を！



畑山 剛一 議員
TAKAKAZU HATAYAMA



女性も守る、男性へのHPVワクチン接種について

HPVは、子宮頸がん以外にもさまざまながんを引き起こすウイルスであり、喉の奥に発生する中咽頭がんもその一つである。HPVを原因とする中咽頭がんの国内罹患率が20年余りで3倍に増加している。患者は男性が多く、予防には子宮頸がんと同様にHPVワクチンの接種が鍵を握る。海外ではすでに40か国で男性接種が公費助成されており、早くから取り組んだオーストラリアでは、2028年には子宮頸がんの撲滅が達成できるとされている。

問 本市でも男性へワクチン接種の助成を導入すべきではないか。

答 HPVワクチンの男性への接種に対する予防効果については、十分認識しており、実



▲認定NPO法人 フローレンス提供



▲消費者庁HPより

施に向けては今後も国の動向を注視しながら慎重に検討を進めていくとともに、定期予防接種化を含めた国の方針が示された場合は、速やかに対応していく。

「食品ロス」についてVol.2

新しい市政の方針でも、温室効果ガスの削減、限りある資源の浪費を抑制や事業系食品廃棄物の削減、ごみの発生の抑止、有効利用に向けた取組等々発表があった。すべてに通ずるのが「食品ロス」対策である。

問 余った食品を食品関連事業者等と協力して低所得者世帯へ配布してはどうか。また、賞味期限近の食品などを扱う無人販売機（フープ）の設置や、ロスとなる食品を抱える事業者と消費者のマッチングサービスを導入してはどうか。

答 「食品ロス」の削減を市のみで推進していく事は困難なため、食品関連事業者と相互に連携を図っていく。